

地域密着型金融の取組み状況

平成19年度

TRIbank MiuraFujisawa

三浦藤沢信用金庫

地域密着型金融推進計画につきまして、
平成19年度の取組み状況を地域の皆さまにご報告いたします。

平成20年7月

- 地域密着型金融の取組み状況(概要)
- 地域密着型金融に係る主要計数等の実績
- 地域密着型金融推進計画の進捗状況一覧
- 経営改善支援の取組み実績

地域密着型金融推進計画の取組み状況(概要)

1. 創業・新事業支援

当金庫は、地域のお客様の創業および新事業の支援に積極的な取組みを展開しています。支援に向けた特別な商品をご用意していませんが、お客様のご要望に合わせてご融資等させていただいています。

その結果、平成 19 年度の創業・新事業支援関連の融資実績は、51 件、828 百万円となりました。

2. 経営改善支援

当金庫は、お取引先の企業再生を目的に経営改善支援先の対象となる 1,215 先の中から 43 先を選定し、経営改善計画書の策定支援を行いました。この結果、13 先が同計画書を作成されました。

また、当金庫は、定期的に「再生支援活動報告会」および「再生事例報告会」を開催し、経営改善支援先の再生を目的に本部職員および営業店職員が情報を共有して今後の取組みを進める動機付けとしています。

このような経営改善支援に係る取組みの結果、平成 19 年度は 43 先のうち 3 先がランクアップしました。

3. 担保・保証に過度に依存しない中小企業向け融資の推進

当金庫は、地域の中小企業のお客様を対象に、「MF ビジネスサポート 2000」、「MF ビジネスサポート・チャレンジ」、「MF ビジネスサポート・クイック」、「MF ビジネスサポート・トライ」および「オリックス提携事業者ローン」を無担保融資商品としてご用意し、中小企業向け融資を推進しました。この結果、平成 19 年度のこれらの商品の融資実績は、87 件、1,729 百万円となりました。

また、動産・債権譲渡担保に基づく融資として信用保証協会「売掛債権担保融資」等を活用しました。この結果、平成 19 年度の同融資の実績は、62 件、268 百万円となりました。

4. 持続可能な地域経済への貢献

当金庫は、お取引先企業の組織である「みうら会」会員を対象に「ガイドブック」を作成し、会員間のビジネスマッチングを図る準備を進めました。

また、地域の小中学校の金融教育を支援するため、職員による出張授業を 5 校、営業店への職場体験受入を 4 回にわたり実施しました。

地域密着型金融に係る主要計数等の実績

項目	目標	実績
創業・新事業支援融資	件数 30件 金額 300百万円	件数 51件 金額 828百万円
経営改善取組先	50先	44先(正常先1先を含む)
経営改善支援取組み率		
$\frac{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}{\text{期初債務者数(正常先を除く)}}$		3.5%
再生計画策定先	20先	13先
再生計画策定率		
$\frac{\text{再生計画策定先数(正常先を除く)}}{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}$		30.2%
ランクアップ先	20先	3先
ランクアップ率		
$\frac{\text{ランクアップ先数(正常先を除く)}}{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}$		7.0%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	件数 15件 金額 200百万円	件数 87件 金額 1,729百万円

(注1) 再生計画策定先は、当金庫独自の再生計画の策定先を含んでいます。

(注2) ランクアップとは、当期末の債務者区分が期初より上位遷移することをいいます。

(注3) 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績は、「MF ビジネスサポート 2000」「MF ビジネスサポート・チャレンジ」「MF ビジネスサポート・クイック」「MF ビジネスサポート・トライ」「オリックス提携事業者ローン」です。

地域密着型金融推進計画の進捗状況一覧

1. ライフサイクルに応じたお取引先企業の支援

項目・具体的取組み	平成 19 年度スケジュール	平成 19 年度進捗状況
創業・新事業支援		
産学官の連携	○地域の公的機関もしくは大学等の訪問 ○「中小企業ポータルサイト」のPR	・「かながわコンソーシアム事業 2007」の広報を金庫内で文書通知しました。 ・「かながわコンソーシアム事業 2007」の報告会に参加しました。 ・「中小企業ポータルサイト」のアクセス件数は月間で平均 33 件となりました。
経営改善支援		
中小企業向け施策の活用	○中小企業庁、中小企業基盤整備機構および神奈川県中小企業センターからの情報収集および営業店への配信	・下記のとおり営業店へ情報を配信しました。 中小企業庁 2 件、中小企業基盤整備機構 1 件、 神奈川県中小企業センター 5 件、神奈川県 1 件
法務・財務・税務等の外部専門家と連携した取組み	○コンサルティングに関する内外研修への参加	・下記の外部研修へ職員が参加しました。 「RCC の取組みにみる企業再生・債権回収の最新事例研究」参加者 5 名 ・下記の内部研修へ職員が参加しました。 「中小企業再生支援協議会の活動と中小企業再生のポイント」参加者 48 名
事業再生		
中小企業再生支援協議会の活用	○再生支援活動報告会および再生事例報告会における活用実績の開示	・相談案件 1 件について中小企業再生支援協議会の活用による事業再生計画の策定を勧めました。 ・下記のとおり活用報告がありました。 再生支援活動報告会 2 件、再生事例報告会 1 件
各種ファンドの活用	○中小企業再生ファンドの活用方法検討	・外部研修「RCC の取組みにみる企業再生・債権回収の最新事例研究」に 5 名の職員が参加し、研修内容を検討材料としました。
再挑戦企業を対象とした信用保証制度の活用	○職員を対象とした勉強会の開催 ○制度内容および商品内容の理解による情報収集	・営業店融資担当者を対象に信用保証協会による「再挑戦支援保証(再チャレンジ保証)」に関する勉強会を開催しました。
自らのネットワークを活用した支援	○既存の情報機能およびネットワークの活用	・当金庫の法人お取引先の組織「みうら会」の会員企業を掲載したガイドブックの作成準備を進めました。
事業承継		
株式買取に関する資金面の支援や M&A のマッチング支援	○渉外担当者向け研修等実施による情報提供機能およびコンサルティング機能の利用促進	・信金キャピタル㈱の案件情報を毎月営業店に通知し、需要があると思われるお取引先へ個別に打診しています。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底

項目・具体的取組み	平成 19 年度スケジュール	平成 19 年度進捗状況
担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み		
「中小企業の会計に関する指針」の普及	○中小企業向けローン「税理士紹介ローン 2000」の案件情報の収集、利用推進	・「税理士紹介ローン 2000」の利用促進を図りましたが、実績はありませんでした。
動産、債権譲渡担保融資、ABL 等の活用	○横浜市信用保証協会「流動資産担保融資保証制度」の案件情報の収集、利用推進 ○同制度内容に関する職員向け勉強会の開催	・神奈川県信用保証協会「売掛債権担保融資」および横浜市信用保証協会「流動資産担保融資」の利用促進を図り、合計で 62 件、268,494 千円の実績がありました。
様々なコベナントの活用	○コベナントを盛り込んだ融資商品の導入	・シンジケート・ローンに財務制限条項を付与しました。
官民の各種ファンドの活用	○中小企業再生ファンドの活用方法検討	・外部研修「RCC の取組みにみる企業再生・債権回収の最新事例研究」に 5 名の職員が参加し、研修内容を検討材料としました。
CL0 の活用	○CL0 の案件情報の収集および利用促進	・中小企業金融公庫が提供する CL0 および政令指定都市 CL0 に関する情報を収集しました。 ・第 4 回政令指定都市 CL0 参加説明会に参加しました。
シンジケート・ローンの活用	○個別案件毎の取組方針決定および対応	・他金融機関から提供された案件情報により取組方針を決定し、13 件、3,018 百万円の実績がありました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目・具体的取組み	平成 19 年度スケジュール	平成 19 年度進捗状況
地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた同時的・一時的な「面的」再生への取組み		
法務・財務・税務等の外部専門家と連携した取組み	○無料税務相談の更なる利用促進 ○外部機関への相談取次ぎ	・お客様相談室で外部専門家と連携した相談を受け付け、公的機関での法律相談、公証人役場および司法書士へ紹介した相談が 12 件ありました。 ・無料税務相談を毎月開催し、19 件の相談がありました。
中小企業向け施策の活用	○中小企業庁、中小企業基盤整備機構および神奈川県中小企業センターから配信される情報について当金庫ホームページを通じて地域企業へ告知する態勢の構築	・下記のとおり営業店へ情報を配信しましたが、当金庫ホームページによる地域企業への告知態勢は現状のところ構築していません。 中小企業庁 2 件、中小企業基盤整備機構 1 件、 神奈川県中小企業センター 5 件、神奈川県 1 件

地域活性化につながる多様なサービスの提供		
リバースモーゲージ等高齢者保有資産の有効活用につながる融資の導入	○高齢者保有資産の有効活用策のスキームのメリット、デメリットの精査	<ul style="list-style-type: none"> ・リバースモーゲージの導入に向けて信託銀行および生命保険会社と3回にわたり打ち合わせを実施しました。 ・リバースモーゲージを取り扱っている信用金庫を訪問して意見交換を実施しました。
地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及	○地域の学校で金融教育に係る授業開催を支援	<ul style="list-style-type: none"> ・下記のとおり出張授業を実施しました。 逗子市内小学校夏期講習1回、横須賀市内小学校3校 横浜市内小学校2校 ・下記のとおり職場体験授業を実施しました。 横須賀市内中学校2校、横浜市内中学校1校、藤沢市内中学校1校 ・下記のとおりインターンシップを受け入れました。 横浜市内私立大学1校(2名) ・下記のとおり商店街および老人会の会合で金融知識を普及しました。 商店街1、老人会1
多重債務者への対応	○多重債務者問題に対応している公的機関の調査および紹介する仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国一斉・多重債務ウィーク」のポスターを掲示しました。 ・多重債務防止に関するパンフレットを営業店に備え置きました。 ・多重債務にならないための情報提供および外部機関への紹介を適宜実施しました。
コミュニティ・ビジネスおよびNPOの支援	○公的機関および業界中央団体から発信される情報の営業店へ配信する態勢構築	<ul style="list-style-type: none"> ・「長期型インターンシップを活用した地域活性化策」に関する資料を営業店へ送付しました。 ・関東経済産業局が作成した「コミュニティ・ビジネス調達マニュアル」を活用しました。

経営改善支援の取組み実績【平成19年4月～平成20年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先数 α	αのうち期末に債務者 区分がランクアップした	αのうち期末に債務者 区分が変化しなかった	αのうち再生計画を策 定した先数 δ	経営改善 支援取組 み率 α/A	ランクアッ プ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α	
			β	γ	δ				
正常先 ①	7,441	1		1	0	0.0%		0.0%	
要注意先	うちその他 要注意先 ②	840	33	2	31	8	3.9%	6.1%	24.2%
	うち 要管理先 ③	40	5	1	4	2	12.5%	20.0%	40.0%
破綻懸念先 ④	169	5	0	5	3	3.0%	0.0%	60.0%	
実質破綻先 ⑤	128	0	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先 ⑥	38	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計 (②～⑥の計)	1,215	43	3	40	13	3.5%	7.0%	30.2%	
合計	8,656	44	3	41	13	0.5%	6.8%	29.5%	

- (注)
- ・期初債務者数および債務者区分は、平成19年4月当初時点で整理しています。
 - ・債務者数および経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含みません。
 - ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含みます。
 - ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
 - ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上します。
 - ・「再生計画を策定した先数δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」